

据置台 工事説明書

— 表示について（表示の意味は次のようになっています） —

⚠ 注意 作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者等が、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

型式名

SD-4506-1 SD-4509-1  
SD-4511-1 SD-4513  
SD-6004-1 SD-6507-1  
SD-6511-1 SD-6513  
SD-4507 SD-6508

WS5015-9

⚠ 注意 工事される方へのお願い

この据置台は、専用機器に使用してください。機器を安全に正しくご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになり正しく施工してください。

1 同梱部品の確認

梱包の中には下記部品が入っています。取り付け前に確認をしてください。

| 品番 | 品 名         | 個数   |
|----|-------------|------|
| ①  | 据置台         | 1    |
| ②  | ビス(トラス4×10) | 5 ※2 |
| ③  | 壁固定金具       | 1    |
| ④  | 固定板上        | 1    |
| ⑤  | 固定板下        | 1    |
| ⑥  | 絶縁ワッシャー     | 2 ※1 |
| ⑦  | 絶縁プレート      | 2 ※1 |
| ⑧  | 床固定金具       | 4    |
| ⑨  | 後枠固定金具      | 1 ※2 |
| ⑩  | 工事説明書       | 1    |

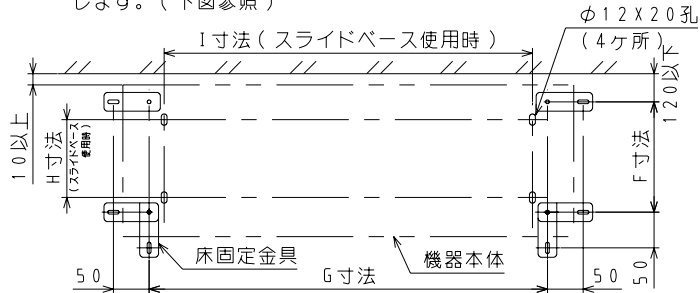
- ※1 SD-4511-1、SD-6511-1、SD-4513、SD-6513のみ、絶縁ワッシャー、プレートを入れてあります。
- ※2 ⑨後枠固定金具はSD-4509-1、6004-1、4507、6508のみ付属です。  
SD-4509-1、6004-1、4507、6508のみ②ビスは7本入りです。

2 設置前の注意

据置台を設置してから、機器本体を取り付けてください。

3 取 付 方 法

- (1) 据置台を置く床面は平らにし、水はけをよくしてください。また、脚はセメントなどで埋めこまないでください。
- (2) 据置台は耐火耐熱材の上に水平に据え付けてください。約3°迄の傾斜の場合はアジャストボルト（各脚共10mm）で調整できます。
- (3) 据置台の脚に床固定金具のUカット部をはめ込みアンカーボルト（M10）等で固定してください。  
尚、あらかじめアンカーボルト固定位置を墨出しすることをお勧めします。（下図参照）



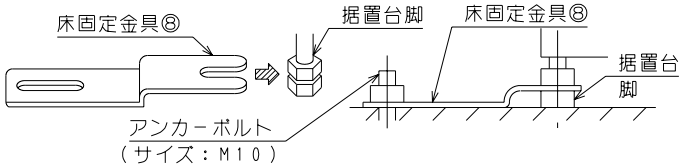
注) スライドベースを使用する場合は機器本体付属の工事説明書を参照してください。

●床固定金具を使用する場合 (単位: mm)

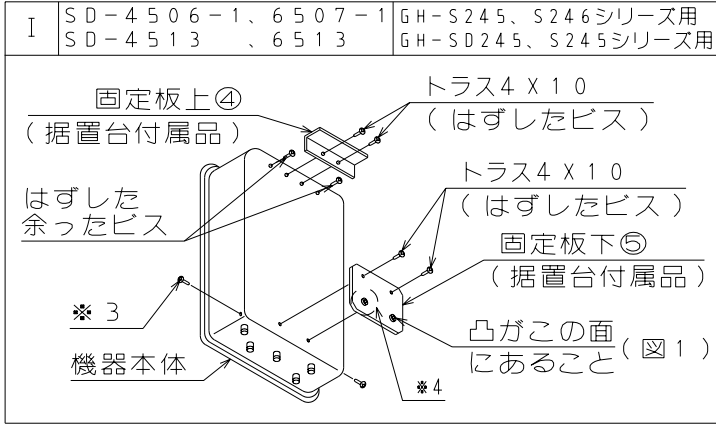
| 型 式 名            | F寸法 | G寸法 |
|------------------|-----|-----|
| SD-4509-1/6004-1 | 130 | 420 |
| SD-4511-1/6511-1 | 148 | 442 |
| SD-4506-1/6507-1 | 179 | 420 |
| SD-4513 /6513    | 184 | 442 |
| SD-4507 /6508    | 155 | 428 |

●直付け(スライドベース)の場合(アンカーボルトサイズW3/8または、M10)

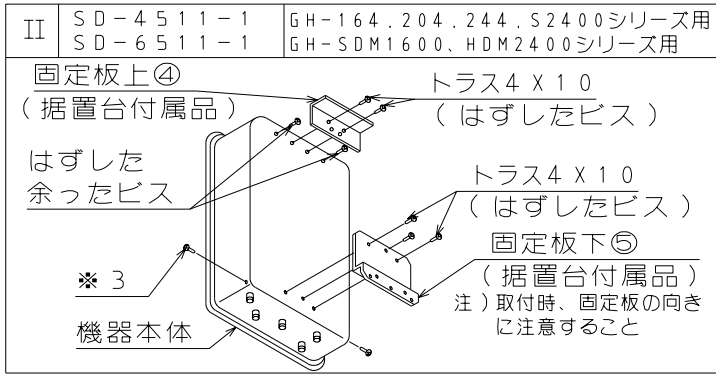
| 型 式 名            | H寸法 | I寸法 |
|------------------|-----|-----|
| SD-4509-1/6004-1 | 71  | 420 |
| SD-4511-1/6511-1 | 89  | 420 |
| SD-4506-1/6507-1 | 119 | 420 |
| SD-4513 /6513    | 125 | 420 |
| SD-4507 /6508    | 96  | 414 |



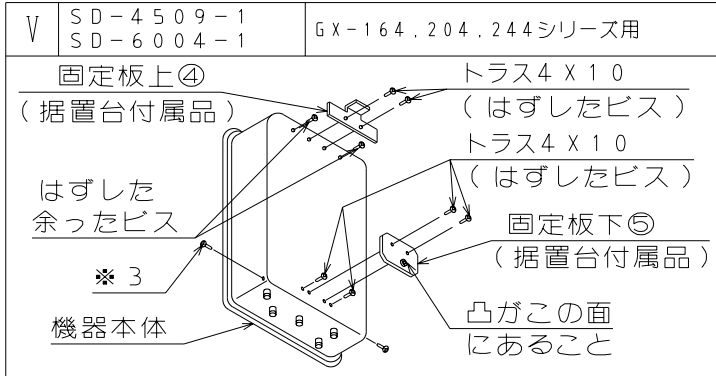
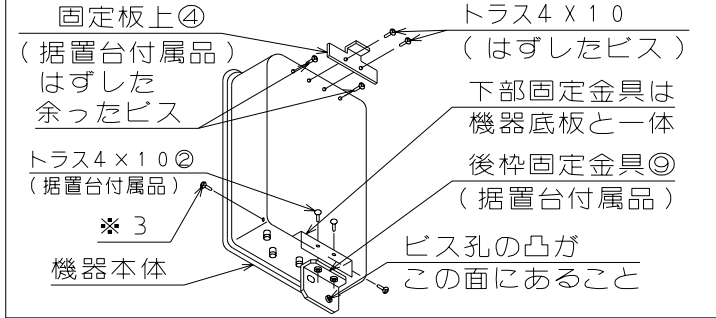
- (4) 機器本体上部(ビス4本)下部(ビス3本または4本)についている掛金具をはずし、上部に固定板上④(ビス2本)、下部に固定板下⑤(ビス2本または3本)を取り付けてください。  
また、上部2本の余ったビスは下図のように取り付けてください。
- ※3 機器本体側面下部にビスがついている製品は、一度側面下部のビス(2本)をはずしてください。  
(再使用しますのでビスの紛失に注意してください。)



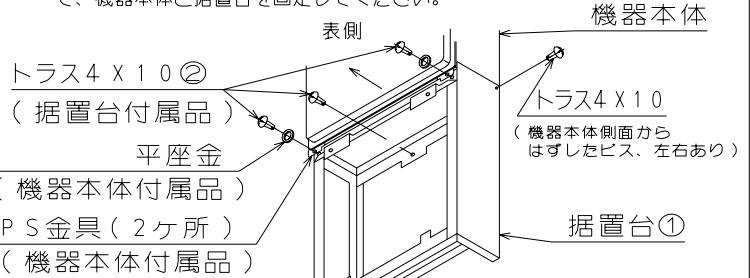
- ※4 SD-4506-1、SD-6507-1には2ヶ所、凸部があります。  
機器本体と据置台の固定時はどちらか1ヶ所ビス止めしてください。  
取付方法は(図1)を参照のこと



|     |                        |                                                    |
|-----|------------------------|----------------------------------------------------|
| III | SD-4509-1<br>SD-6004-1 | GX-1600、2000、2400シリーズ用<br>GX-SE1600、2000、2400シリーズ用 |
| IV  | SD-4507<br>SD-6508     | GX-S2000、S2400シリーズ用                                |



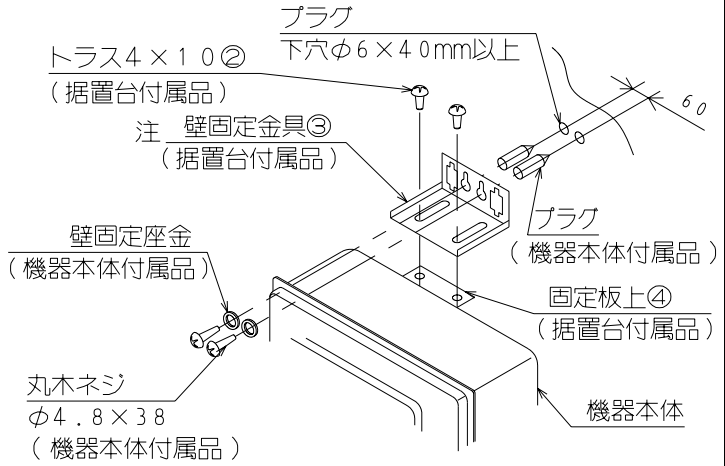
- (5) 据置台前面板を化粧ネジ(2本)をゆるめてはずします。  
機器本体の側面のビス(左右各1本)をはずした後、据置台にのせます。  
次に据置台の前方を機器本体下部左右のPS金具の長孔を利用し、ビス②(トラス4×10、ビス2本)、後方をビス②(トラス4×10、ビス1本)両側面を機器本体からはずしたビス(※3)(トラス4×10、ビス各1本)で、機器本体と据置台を固定してください。



- (6) 壁固定金具③を取り付けるときは壁との距離を調整してからビス2本で固定板上④に固定してください。次に機器本体付属品の壁固定座金および丸木ネジにて壁と固定してください。  
(モルタル、コンクリート壁等の場合は先にプラグを壁に打ち込んでください。)

|      |                                                |
|------|------------------------------------------------|
| I、II | SD-4506-1、4511-1、4513<br>SD-6507-1、6511-1、6513 |
|------|------------------------------------------------|

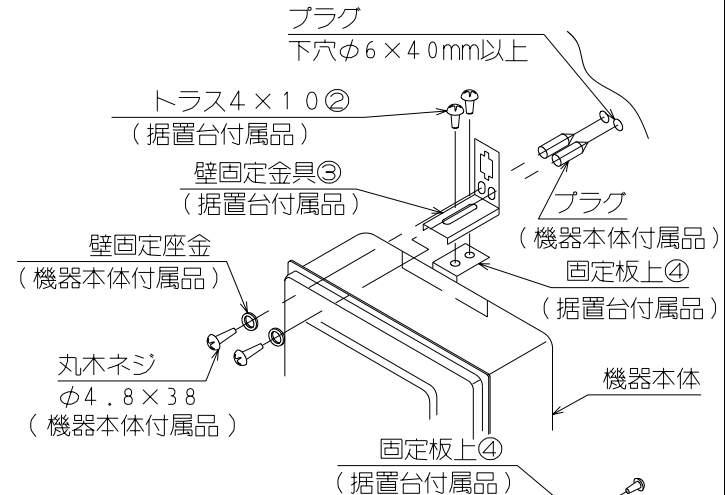
壁固定金具③は、壁からの距離15～90mmの範囲で動かせます。  
(絶縁部材使用時は壁からの距離25～90mm)



注) 東京ガス製品XT4204AFSAW6QU、SW6QUの場合は機器本体付属の工事説明書を参照してください。

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| III、IV、V | SD-4509-1、6004-1<br>SD-4507、6508 |
|----------|----------------------------------|

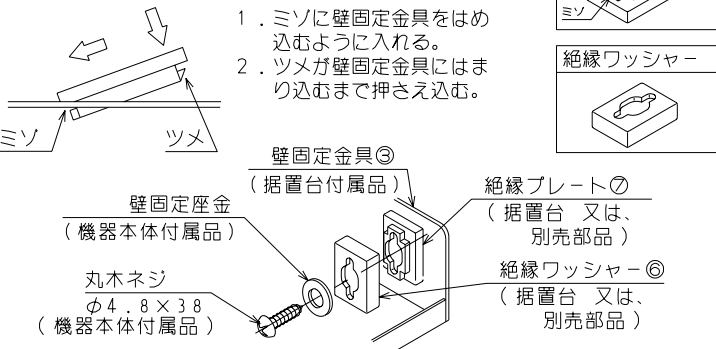
壁固定金具③は、壁からの距離10～90mmの範囲で動かせます。



<注意>  
壁からの距離が10～47mmの場合は右図のように固定板上を反対向きに取り付けます。  
48mm以上の場合は上図のように取り付けてください。

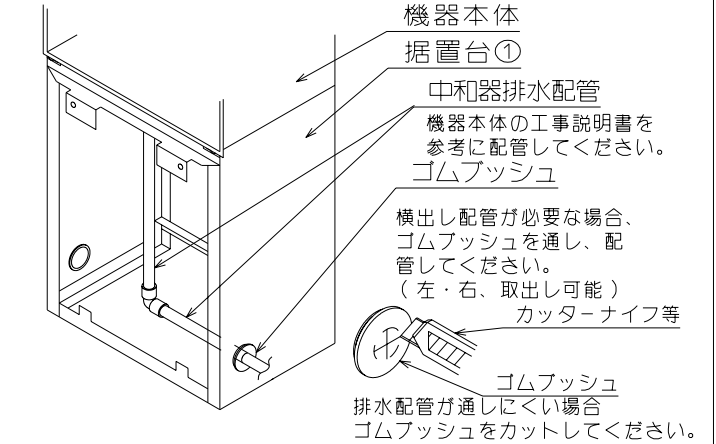
絶縁が必要な場合

- 「電気設備に関する技術基準を定める省令」および「電気設備の技術基準の解釈」に従って工事を行ってください。  
メタルラス張り、ワイヤラス張り等の木造の造営物に電気器具を取り付ける場合、機器と造営物とは、電気的に接続しないように施設しなければなりません。(電気設備技術基準第167条第3項)  
据置台付属又は、別売部品(部品コード: Bヒ9G5)の絶縁ワッシャー、絶縁プレートを使用し、次の要領で取り付けてください。  
1. 壁固定金具に後面より絶縁プレートをはめ込みます。  
2. 絶縁ワッシャーをかぶせて丸木ネジで固定します。  
3. 絶縁プレートのはめ込み方は下図を参照してください。

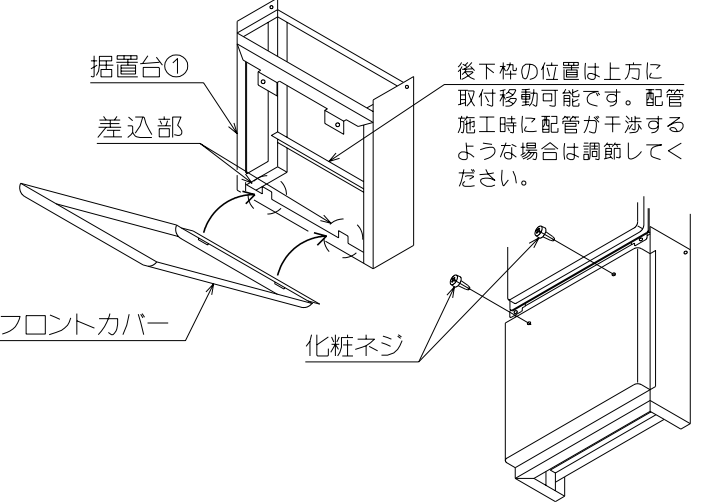


- (7) 配管施工をしてください。  
施工方法は機器本体の工事説明書を参照ください。

- 高効率製品の場合  
高効率タイプの中和器の排水配管で下出し、後出しが困難な場合、下図のように据置台側面のゴムフッシュ(据置台に取付済)を通し排水配管施工をしてください。排水配管が通しにくい場合は、ゴムフッシュ中央部をカッターナイフ等でカットしてください。



- (8) 据置台のフロントカバーを取り付けてください。  
フロントカバー下部の角孔に据置台組立のツメを差し込み、フロントカバーを立ち上げて化粧ネジ(2本)で止めてください。



⚠ 注意 安全上の注意

据置台のフロントカバーをしっかりと閉め、ガタつきの無いことを確認してください。下部差込箇所がはずれていないことを確認した上で、化粧ネジを工具、コイン等を使用してしっかりと締めてください。

製造元

パーパス株式会社

〒417-8505  
静岡県富士市西柏原新田201